



2019年3月期 第2四半期 決算説明会



本日の説明内容

- **総括**
- **2019年3月期 第2四半期累計 実績**
- **2019年3月期 通期見通し**
- **主要施策の進捗**

【2019年3月期 第2四半期累計実績】

- **グローバル販売台数は対前年2%増の79万6千台と過去最高**
 - **クロスオーバー系車種の好調な販売モメンタムは継続**
 - **地域別では、日本やASEAN地域を中心に台数成長**
 - **CX-8をオーストラリアとニュージーランドに導入、順調な滑り出し**
- **売上高 1兆7,291億円、営業利益 309億円、当期純利益 244億円**
- **7月豪雨の販売影響は、在庫活用により最小化**

【2019年3月期 通期見通し】

- **グローバル販売台数 161万7千台、営業利益 700億円、当期純利益 500億円**
- **豪雨影響などによる台数減少に加え、為替前提および品質関連費用の見直し等を反映し、通期見通しを修正**

2019年3月期 第2四半期累計 実績

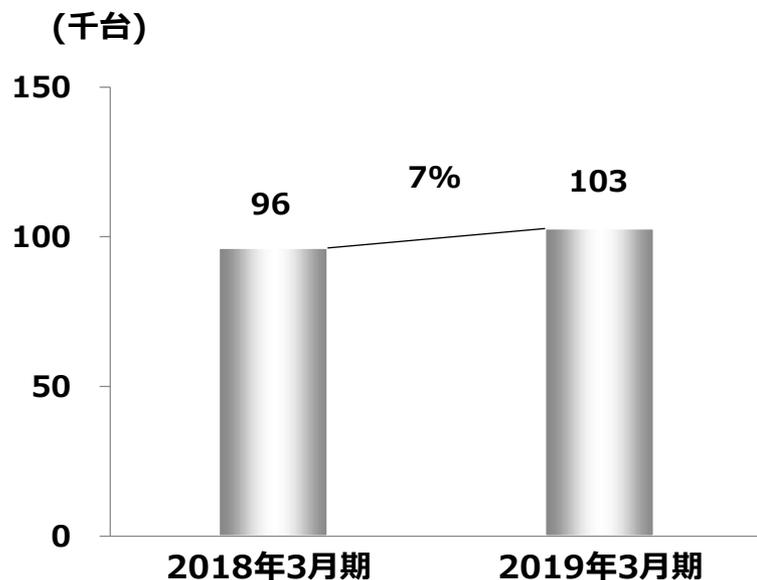
2019年3月期 グローバル販売台数

(千台)	第2四半期累計		増/(減)	
	2018年	2019年	対前年	
	3月期	3月期	台数	YOY(%)
グローバル販売台数				
日本	96	103	6	7 %
北米	219	222	4	2 %
欧州	132	135	3	2 %
中国	149	133	(16)	(11)%
その他市場	187	202	16	8 %
合計	783	796	13	2 %
<内訳>				
米国	151	151	(0)	(0)%
オーストラリア	59	56	(3)	(5)%
ASEAN	51	66	14	28 %



- 販売台数は、対前年7%増の10万3千台
- 総台数シェアは4.1%、登録車シェアは対前年0.4pts増の5.2%

第2四半期累計 販売台数

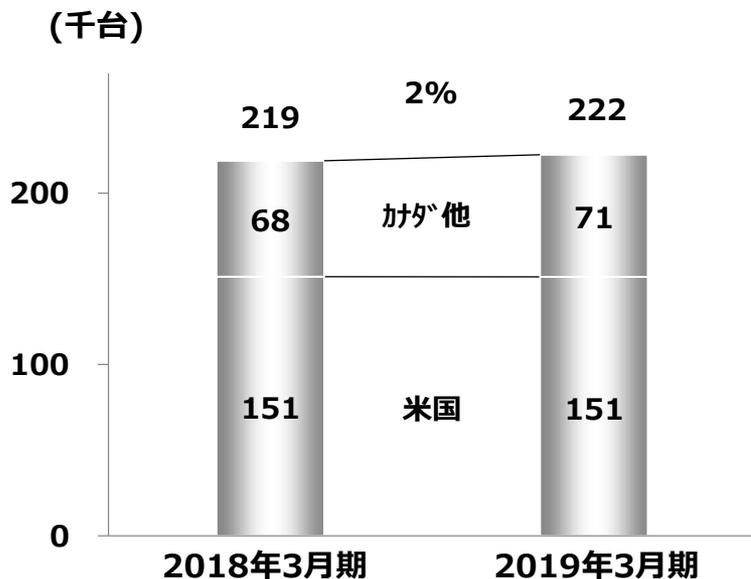


- CX-8は、幅広いお客さまの支持を受け、好調な販売を継続。CX-5は、前年同水準の高い販売台数を維持
- CX-3、アテンザおよびデミオの商品改良モデルは、いずれも順調な立ち上がり

北米



第2四半期累計 販売台数



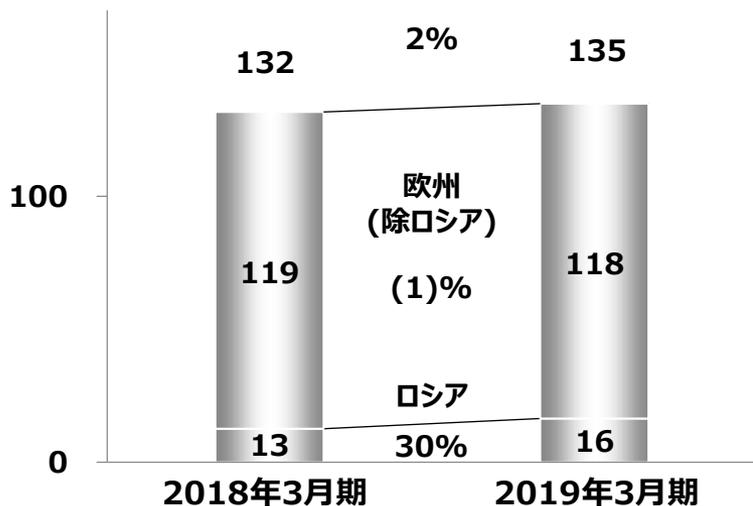
- 販売台数は、対前年2%増の22万2千台
- 米国:前年同水準の15万1千台
 - セダン系車種の需要が縮小する中、Mazda6の商品改良モデルが販売台数維持に貢献
 - すべてのクロスオーバー系車種で、前年を上回る好調な販売
- カナダ:対前年3%増の4万3千台
- メキシコ:対前年10%増の2万8千台

欧州



第2四半期累計 販売台数

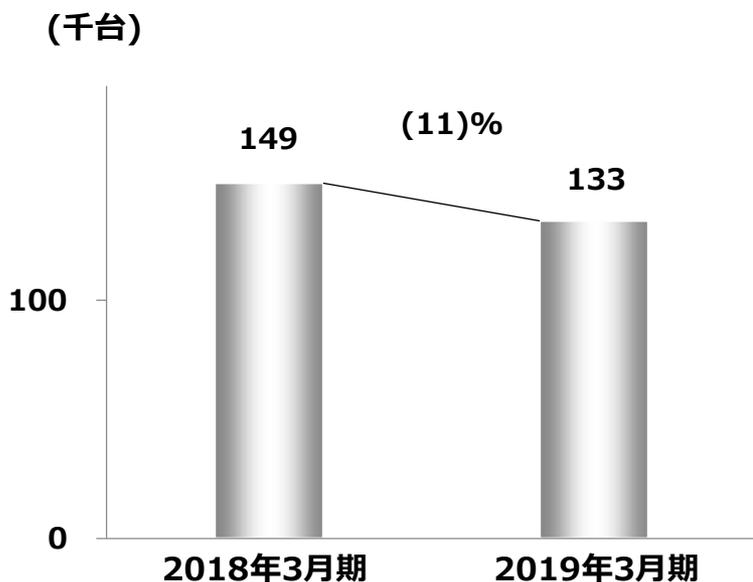
(千台)



- 販売台数は、対前年2%増の13万5千台
- CX-5は、対前年20%増と好調に推移
- ロシアを除く欧州は、対前年1%減の11万8千台
 - ドイツ:対前年4%減の3万3千台
 - 英国:前年同水準の1万9千台
 - スペイン:対前年17%増の1万1千台
- ロシア:対前年30%増の1万6千台



第2四半期累計 販売台数



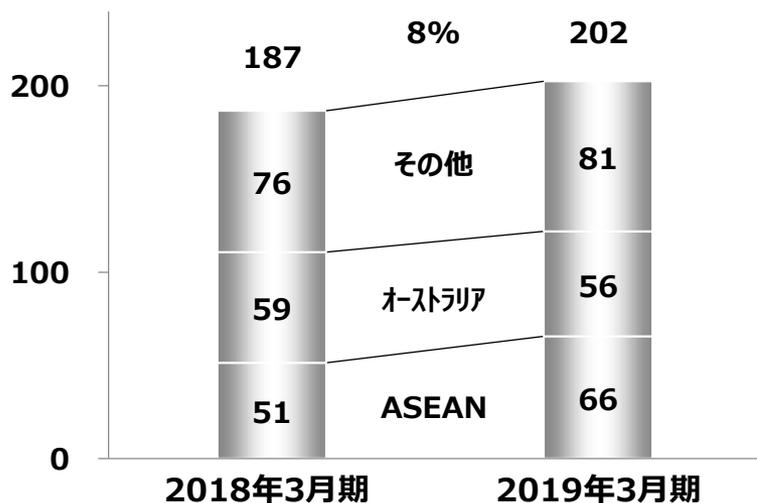
- 販売台数は、対前年11%減の13万3千台
- 米中貿易摩擦などにより需要が減速、販売環境が悪化
- Mazda3をはじめとする主要モデルで販売が減少
- SKYACTIV-X、魂動デザインについての新技術説明会やデザインフォーラムを実施し、ブランド理解を促進
- CX-8を2018年末導入、導入準備は計画通り進捗

その他市場



第2四半期累計 販売台数

(千台)



- 販売台数は、対前年8%増の20万2千台
- オーストラリア:対前年5%減の5万6千台
 - 販売環境が悪化する中、CX-5は対前年3%増の1万4千台と販売モメンタムを継続
 - CX-8は、徐々に認知度を向上、順調な立ち上がり
- ASEAN:対前年28%増の6万6千台
 - タイ:対前年40%増の3万5千台
 - ベトナム:対前年25%増の1万4千台
- その他市場:チリで過去最高の販売台数

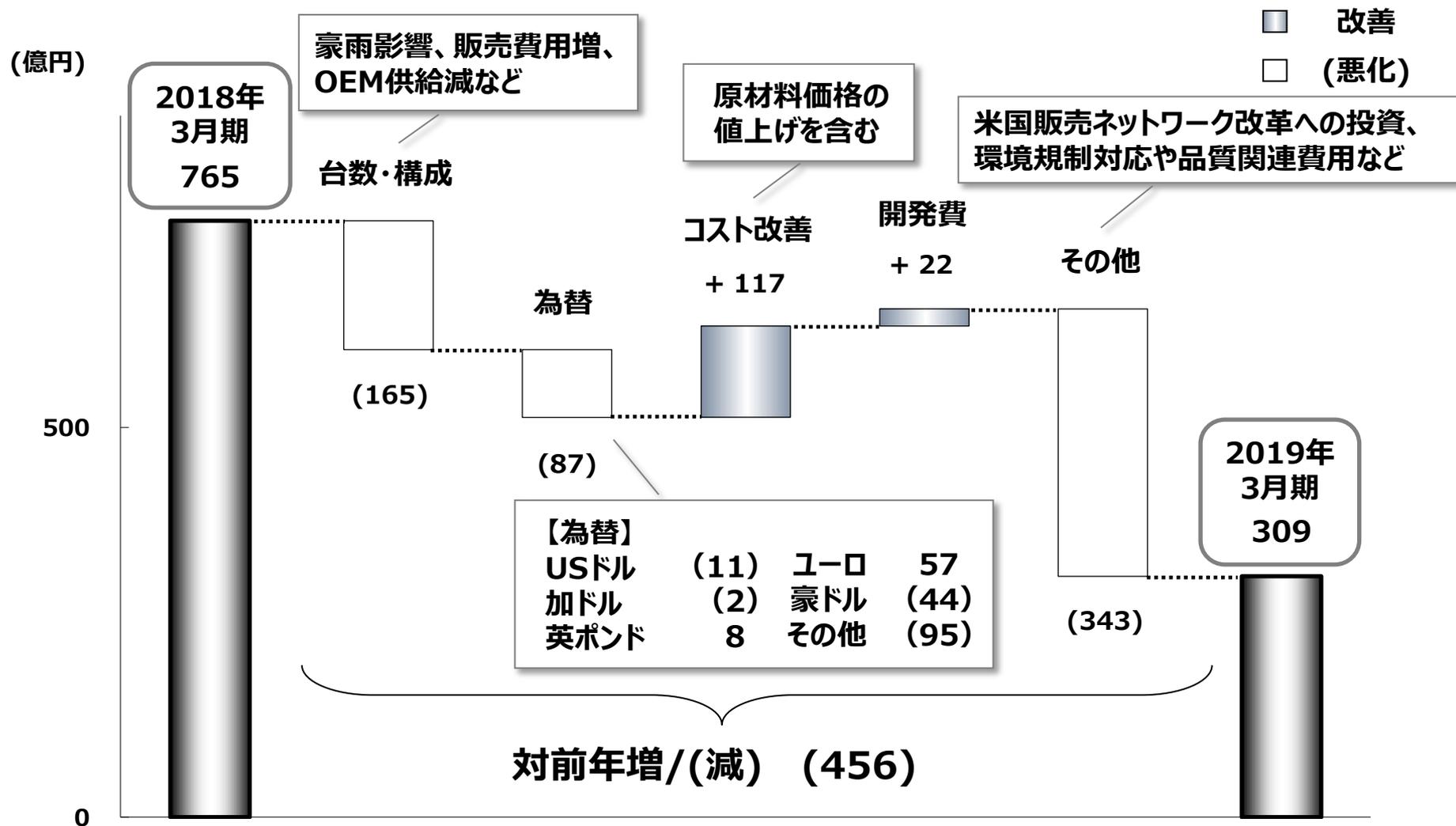
2019年3月期 財務指標

第2四半期累計

(億円)	第2四半期累計		増/(減)	
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	
			金額	YOY(%)
売上高	16,566	17,291	725	4 %
営業利益	765	309	(456)	(60)%
経常利益	965	545	(420)	(43)%
税引前利益	874	500	(374)	(43)%
当期純利益	633	244	(389)	(62)%
売上高営業利益率	4.6 %	1.8 %	(2.8)pts	
EPS (円)	105.9	38.7	(67.2)	
為替レート (円)				
USドル	111	110	(1)	
ユーロ	126	130	3	

2019年3月期 営業利益変動要因

第2四半期累計 対前年比較



平成30年7月豪雨影響

<適時開示(9月21日)>

- 豪雨発生後、操業を一時的に休止、再開後も生産量を抑制
- 生産台数は車両4万4千台、海外生産用部品2万3千台の減少
- 業績への影響は概算で約(280)億円の損失

<上期実績>

- グループ^o内在庫を活用し、上期の連結出荷台数は約2万2千台の減少
- 上期業績への影響（概算）

営業損失	・車両の減少	(100)億円
	・車種ミックス及び	
	海外生産用部品の減少	(50)億円
特別損失	・生産ロスに伴う固定費	(37)億円
	合計	約(180)億円

<通期見通し>

- 減産による下期の出荷影響は、リカバリーでオフセット
- 結果として、通期の台数・業績への影響は、上記と同等レベルに留まる引き続き、影響の最小化に向けてリカバリーの最大化を図る

2019年3月期 通期見通し

2019年3月期 グローバル販売台数

(千台)	通期		増/(減)		
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年		対期初公表
			台数	YOY(%)	台数
グローバル販売台数					
日本	210	216	6	3 %	2
北米	435	434	(1)	(0)%	(23)
欧州	269	270	1	0 %	5
中国	322	294	(28)	(9)%	(28)
その他市場	394	403	9	2 %	0
合計	1,631	1,617	(14)	(1)%	(46)
<内訳>					
米国	304	297	(7)	(2)%	(19)
オーストラリア	116	112	(4)	(3)%	(5)
ASEAN	116	129	13	12 %	6

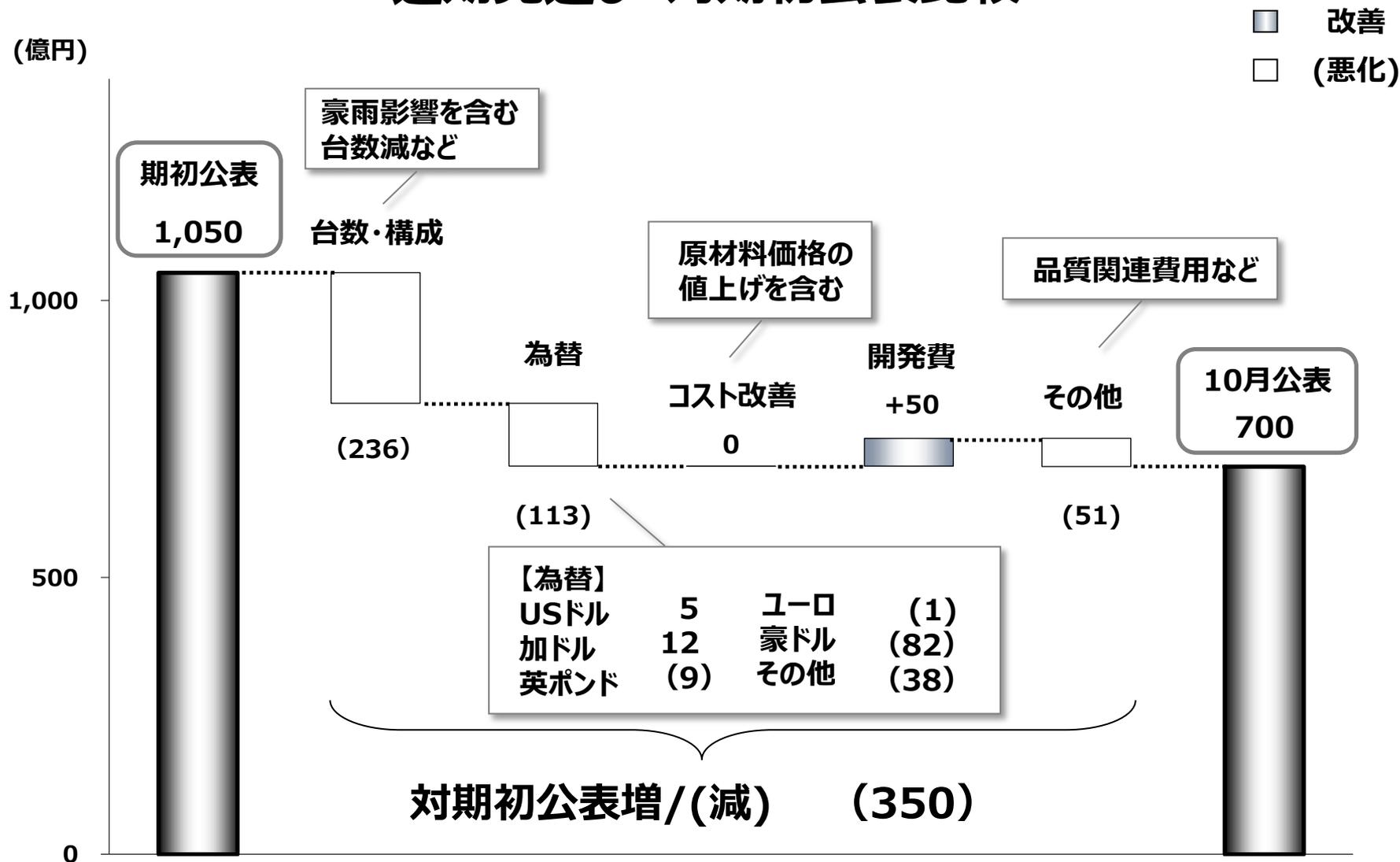
2019年3月期 財務指標

通期

(億円)	2018年 3月期	2019年 3月期	増/(減)		
			対前年	対期初公表	
			金額	YOY(%)	金額
売上高	34,740	35,300	560	2 %	(200)
営業利益	1,464	700	(764)	(52)%	(350)
経常利益	1,721	1,000	(721)	(42)%	(300)
税引前利益	1,575	870	(705)	(45)%	(330)
当期純利益	1,121	500	(621)	(55)%	(300)
売上高営業利益率	4.2%	2.0%	(2.2)pts		(1.0)pts
EPS (円)	182.9	79.4	(103.5)		(47.6)
為替レート (円)					
USドル	111	110	(1)		3
ユーロ	130	130	0		(0)

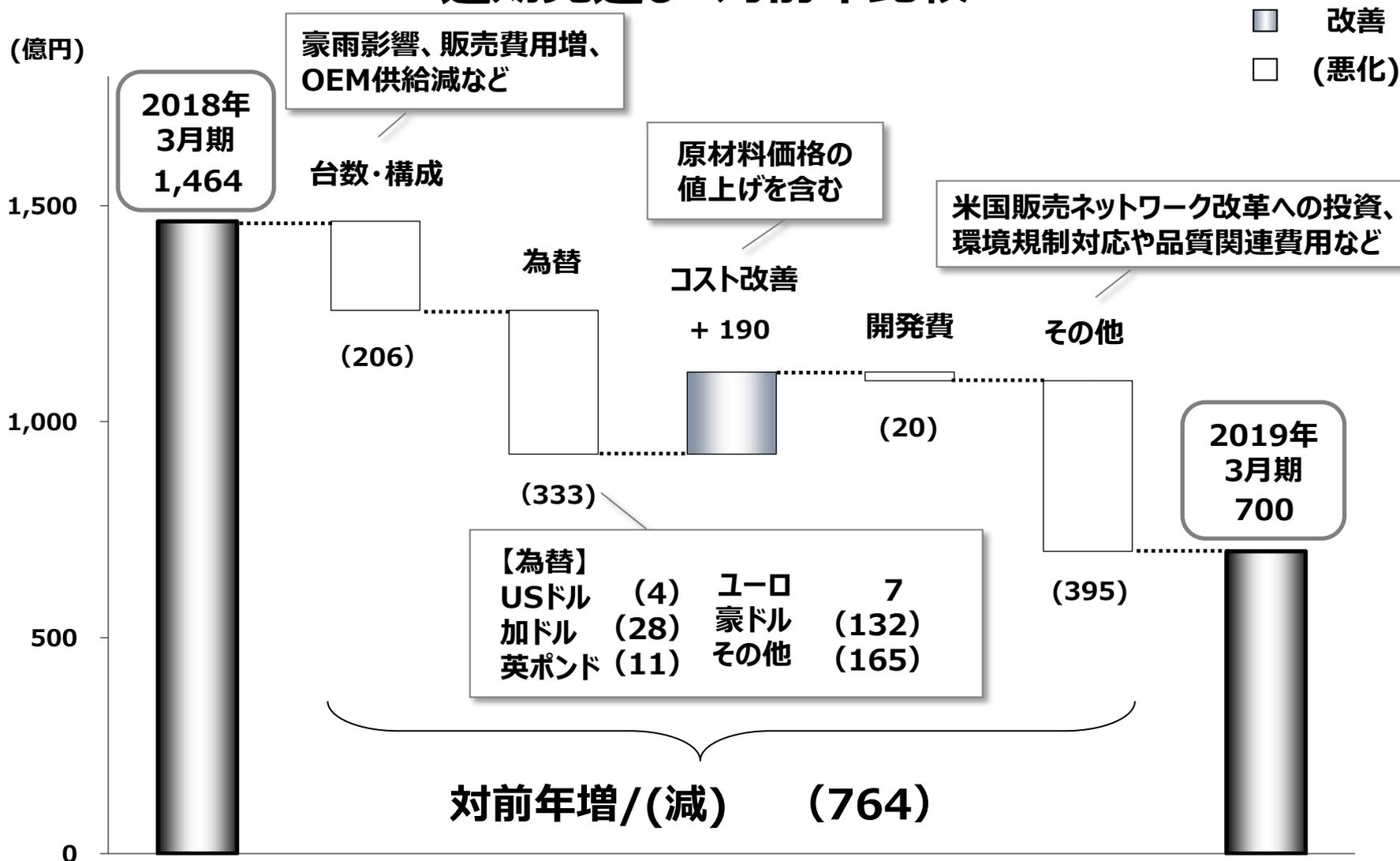
2019年3月期 営業利益変動要因

通期見通し 対期初公表比較



2019年3月期 営業利益変動要因

通期見通し 対前年比較



主要施策の進捗（1）

- **新型車の導入および継続的な商品改良による競合力強化**
 - デミオに新たにガソリンエンジン「SKYACTIV-G 1.5」を搭載
 - CX-5に「SKYACTIV-G 2.5T」を国内初導入し、上質な内装の特別仕様車を設定。
また、車両運動制御技術「G-ベクタリング コントロール プラス (GVC Plus)」を採用
 - CX-8を2018年末に中国に導入予定
- **防府第2工場を8月に2直化、さらに効率的でフレキシブルな生産体制を構築**



CX-8

主要施策の進捗（2）

■ 次世代商品/新技術の開発は順調に進捗

■ 次世代モデル第一弾を年度末に投入

（搭載予定の次世代技術）

- マツダ独自の燃焼方式「SPCCI」を持つ次世代ガソリンエンジン「SKYACTIV-X」
- 人間中心の思想を突き詰めた次世代車両構造技術「SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE」
- 魂動-Soul of Motion-のデザイン哲学を深化させた「魂動デザインフェーズ2」



「SKYACTIV-X」



「SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE」



「マツダ 魁 CONCEPT」

■ 9月末より生産開始、11月下旬のロサンゼルスモーターショーにて公開予定

主要施策の進捗（3）

■ 米国の販売ネットワーク改革は順調に進捗

- 高いブランドスタンダードへの適合を報奨する販売店支援プログラムを7月より開始
- 約200店舗の販売店が次世代ブランド店舗への投資を表明、300店舗を目指す計画に対して順調な滑り出し
- トレードサイクルマネジメントや認定中古車販売の強化による販売店の収益基盤の強化および残価の維持管理



主要施策の進捗（4）

■ 電動化とコネクティビティの技術戦略を公表

電
動
化

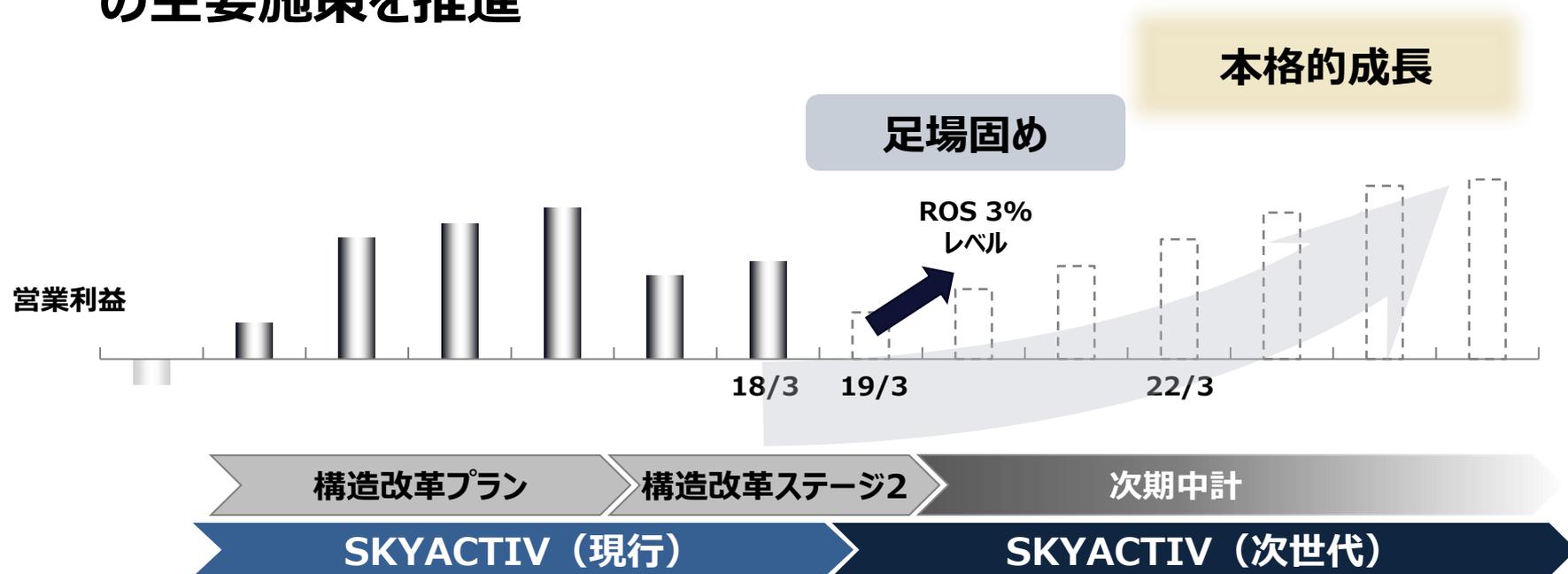
- 企業平均CO2排出量を2030年までに50%削減（2010年比）
- 2030年時点で生産するすべての車両に電動化技術
内燃機関車+電動化技術：95%
電気自動車：5%
- ローターエンジン レンジエクステンダー搭載モデルを開発

コ
ネ
ク
テ
ィ
テ
ィ

- 人と人とのつながりの希薄化などの課題解決へ貢献
- モデルベース開発と連携し製品開発に反映することで、品質とお客さま満足度をさらに向上
- トヨタ自動車株式会社とのアライアンスを最大限に活用して開発

最後に

- 豪雨影響含む販売減、為替、品質費用等により、今期見通しを下方修正
- 来期は次世代商品の導入、豪雨影響/品質費用のリカバリー、変動コスト/固定費の徹底的な見直し等により、ROS3%レベルへの回復を目指す
- 2022年3月期以降の本格的成長に向けて「今後の取組み方向性」の主要施策を推進





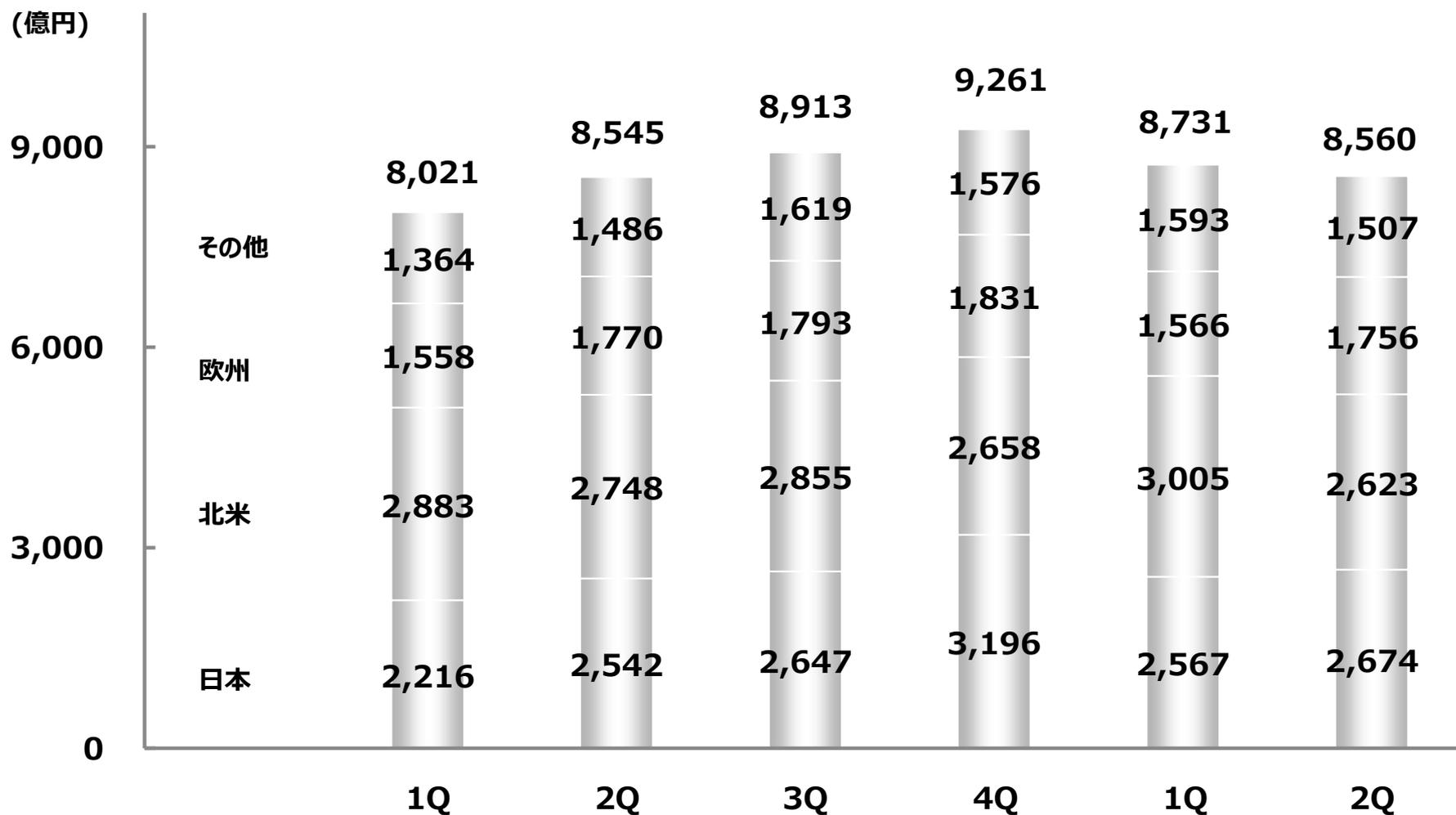
添付

キャッシュフロー及びネット・キャッシュ

(億円)	2018年3月期 通期	2019年3月期 第2四半期累計	対前期末 改善/(悪化)
キャッシュフロー			
- 営業	2,078	607	-
- 投資	(1,600)	(395)	-
- フリーC/F	478	212	-
現金及び現金同等物	6,049	6,743	694
ネット・キャッシュ	1,070	1,154	84
自己資本比率	44 / 45 [*] %	44 / 45 [*] %	0 / 0 [*] pts

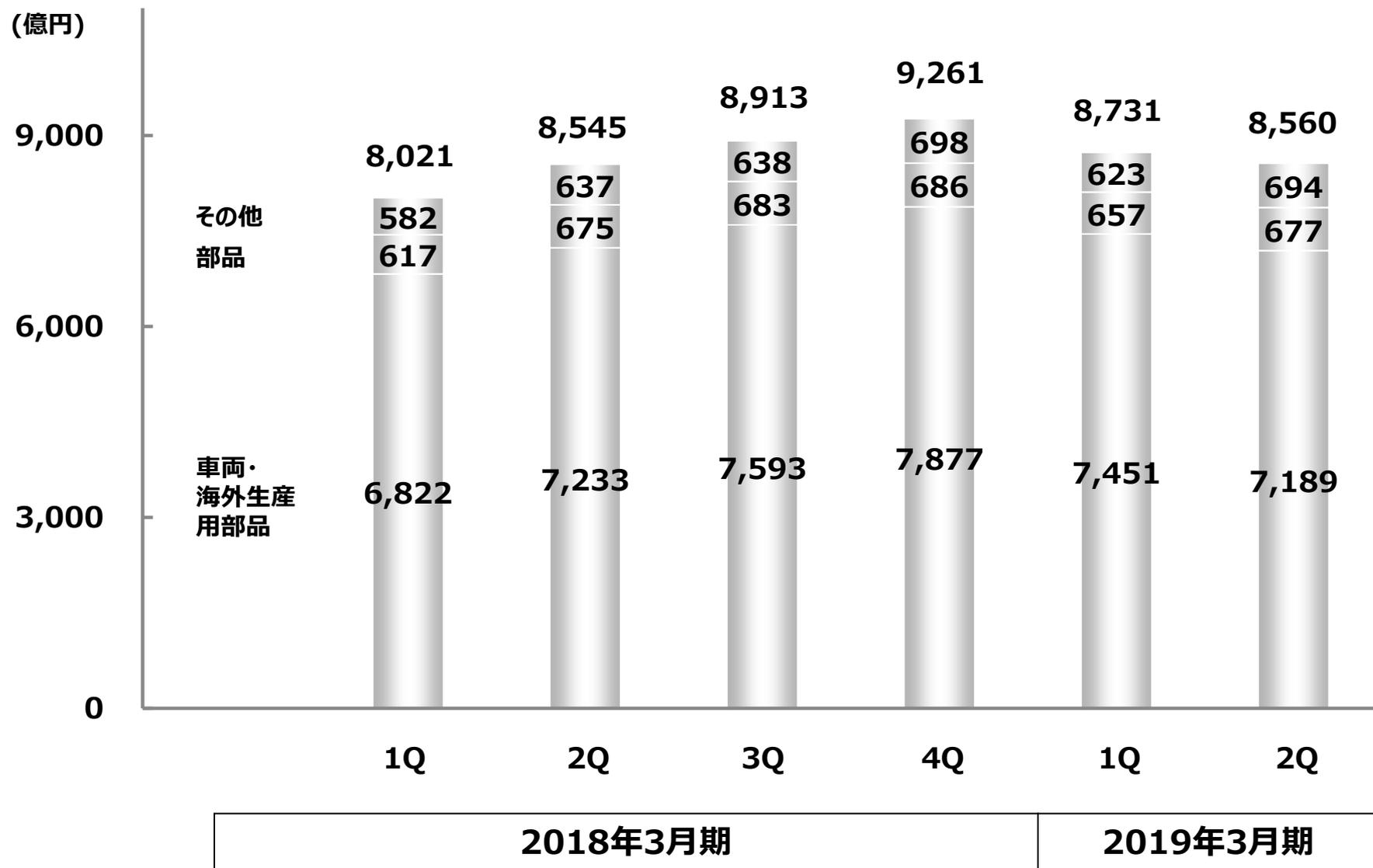
* 劣後特約付ローンの資本性考慮後

売上高 所在地別



2018年3月期	2019年3月期
-----------------	-----------------

売上高 製品別

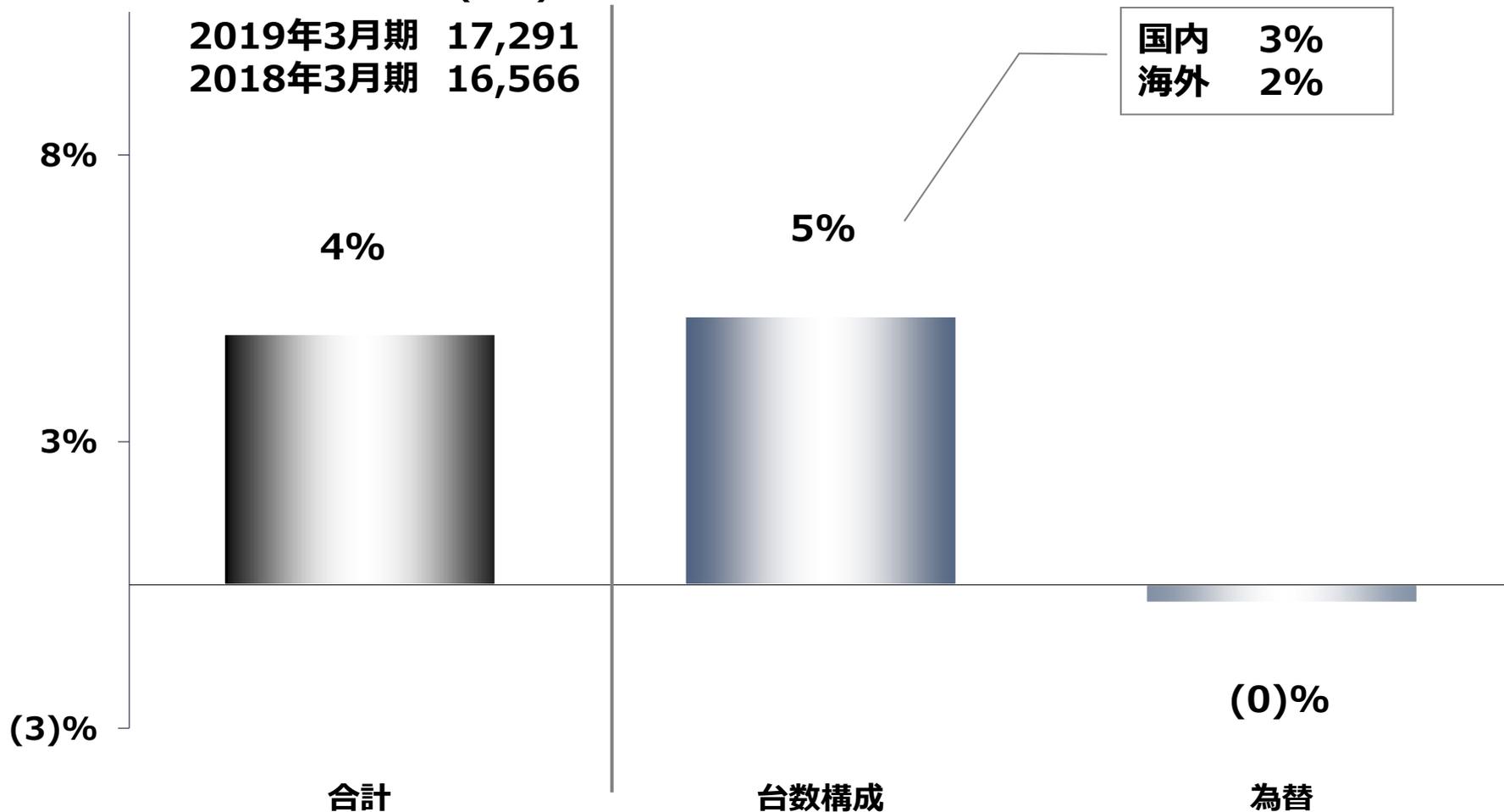


売上高変動内訳

2019年3月期 第2四半期累計 対前年比較

(億円)

2019年3月期 17,291
2018年3月期 16,566

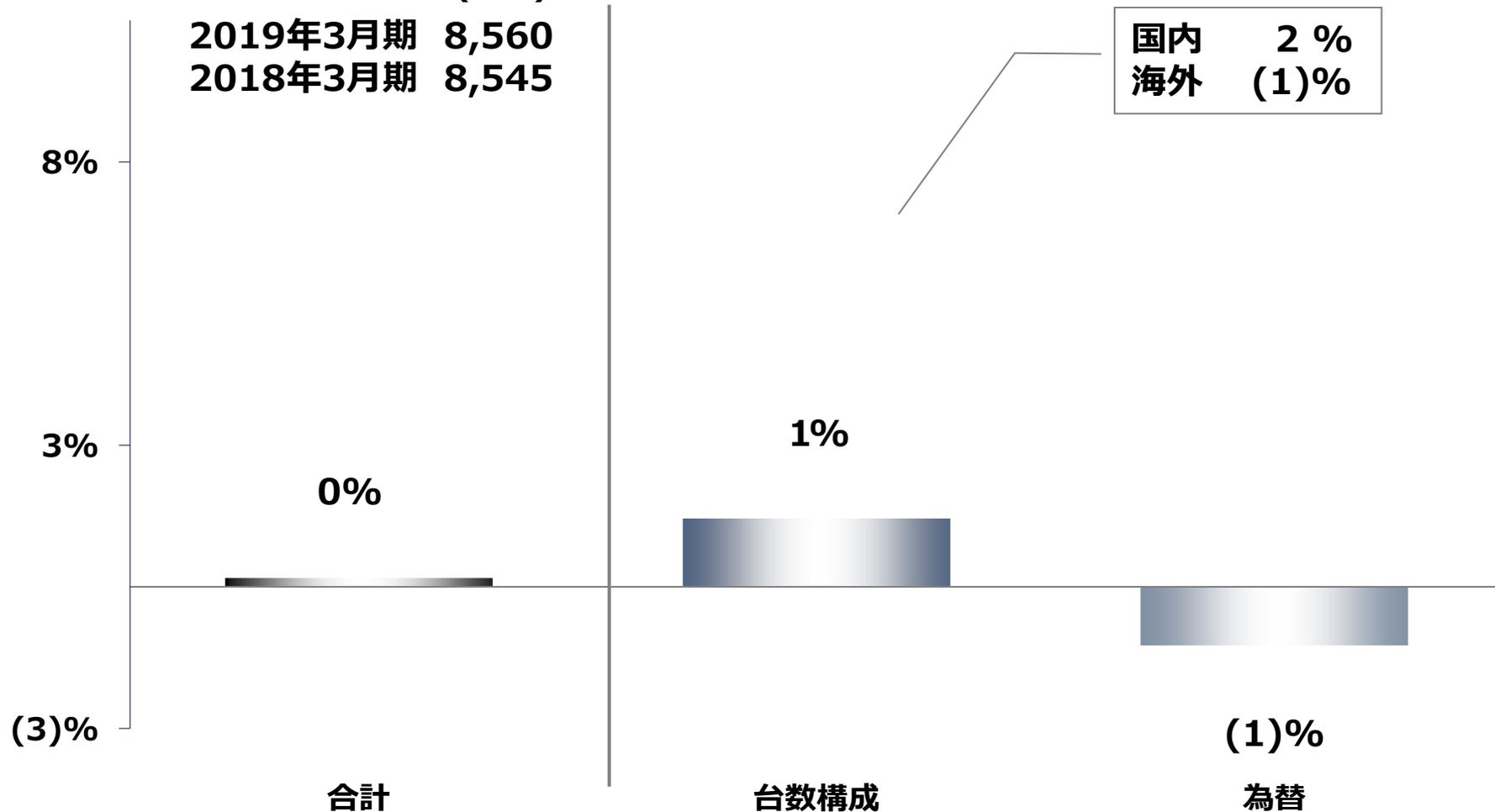


売上高変動内訳

2019年3月期 第2四半期 対前年比較

(億円)

2019年3月期 8,560
2018年3月期 8,545



グローバル販売台数及び連結出荷台数

(千台)	第2四半期累計		増/(減)	
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	
			台数	YOY(%)
グローバル販売台数				
日本	96	103	6	7 %
北米	219	222	4	2 %
欧州	132	135	3	2 %
中国	149	133	(16)	(11)%
その他市場	187	202	16	8 %
合計	783	796	13	2 %
連結出荷台数				
日本	90	101	10	11 %
北米	215	219	4	2 %
欧州	132	129	(4)	(3)%
その他市場	174	195	20	12 %
合計	611	642	31	5 %
<内訳>				
米国	144	146	2	2 %

グローバル販売台数及び連結出荷台数

(千台)	通期		増/(減)		
	2018年	2019年	対前年		対期初公表
	3月期	3月期	台数	YOY(%)	台数
グローバル販売台数					
日本	210	216	6	3 %	2
北米	435	434	(1)	(0)%	(23)
欧州	269	270	1	0 %	5
中国	322	294	(28)	(9)%	(28)
その他市場	394	403	9	2 %	0
合計	1,631	1,617	(14)	(1)%	(46)
連結出荷台数					
日本	199	211	13	6 %	2
北米	423	431	7	2 %	(30)
欧州	266	262	(4)	(1)%	0
その他市場	386	397	11	3 %	4
合計	1,274	1,301	27	2 %	(24)
<内訳>					
米国	289	294	5	2 %	(25)

グローバル販売台数及び連結出荷台数

(千台)	第2四半期		増/(減)	
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	
			台数	YOY(%)
グローバル販売台数				
日本	55	54	(1)	(2)%
北米	112	106	(6)	(5)%
欧州	68	68	(0)	(0)%
中国	78	65	(13)	(17)%
その他市場	92	100	7	8%
合計	406	392	(13)	(3)%
連結出荷台数				
日本	49	52	3	5%
北米	104	101	(3)	(3)%
欧州	68	68	(0)	(0)%
その他市場	93	97	4	4%
合計	315	318	3	1%
<内訳>				
米国	69	64	(5)	(7)%

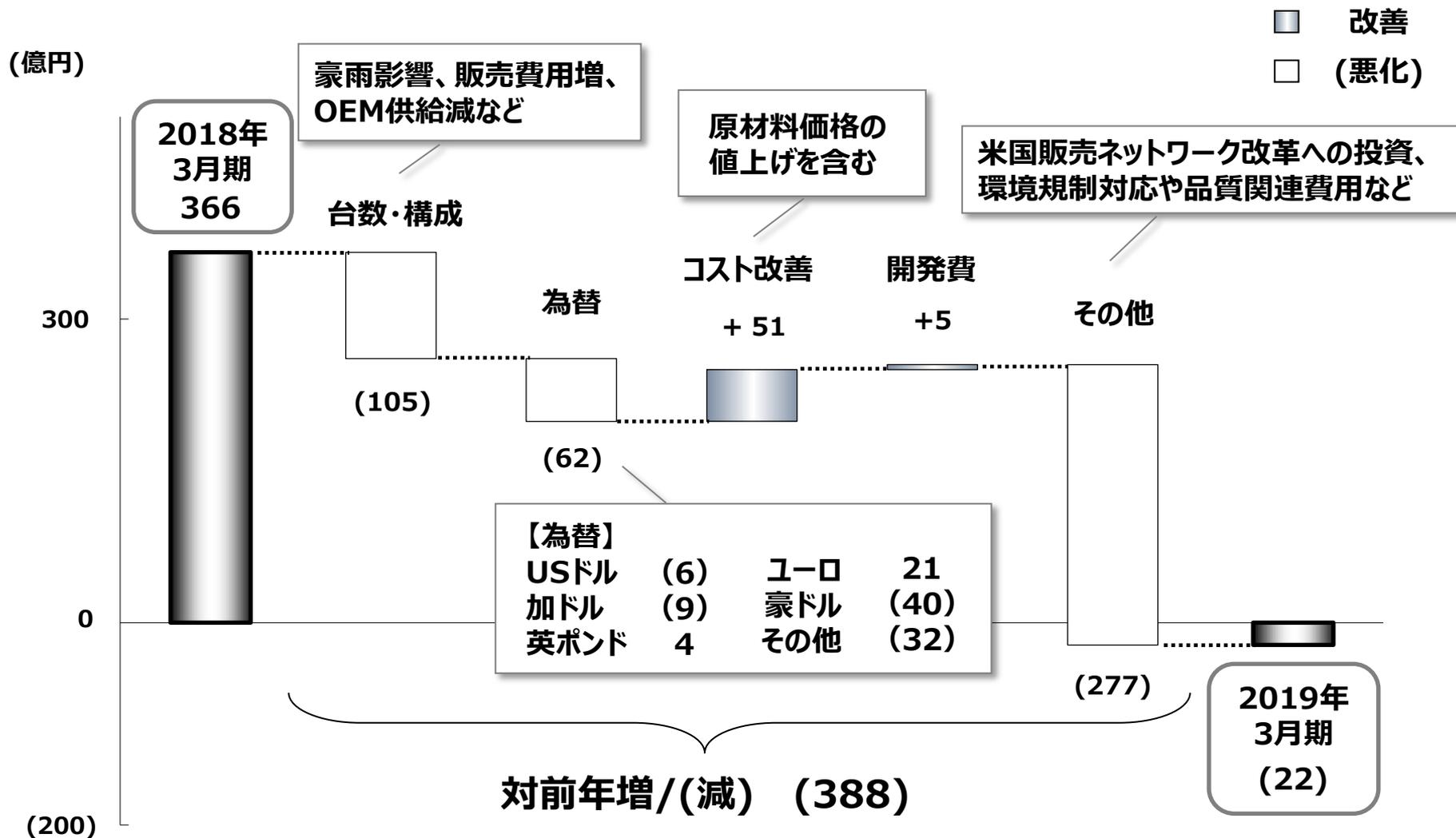
2019年3月期 財務指標

第2四半期

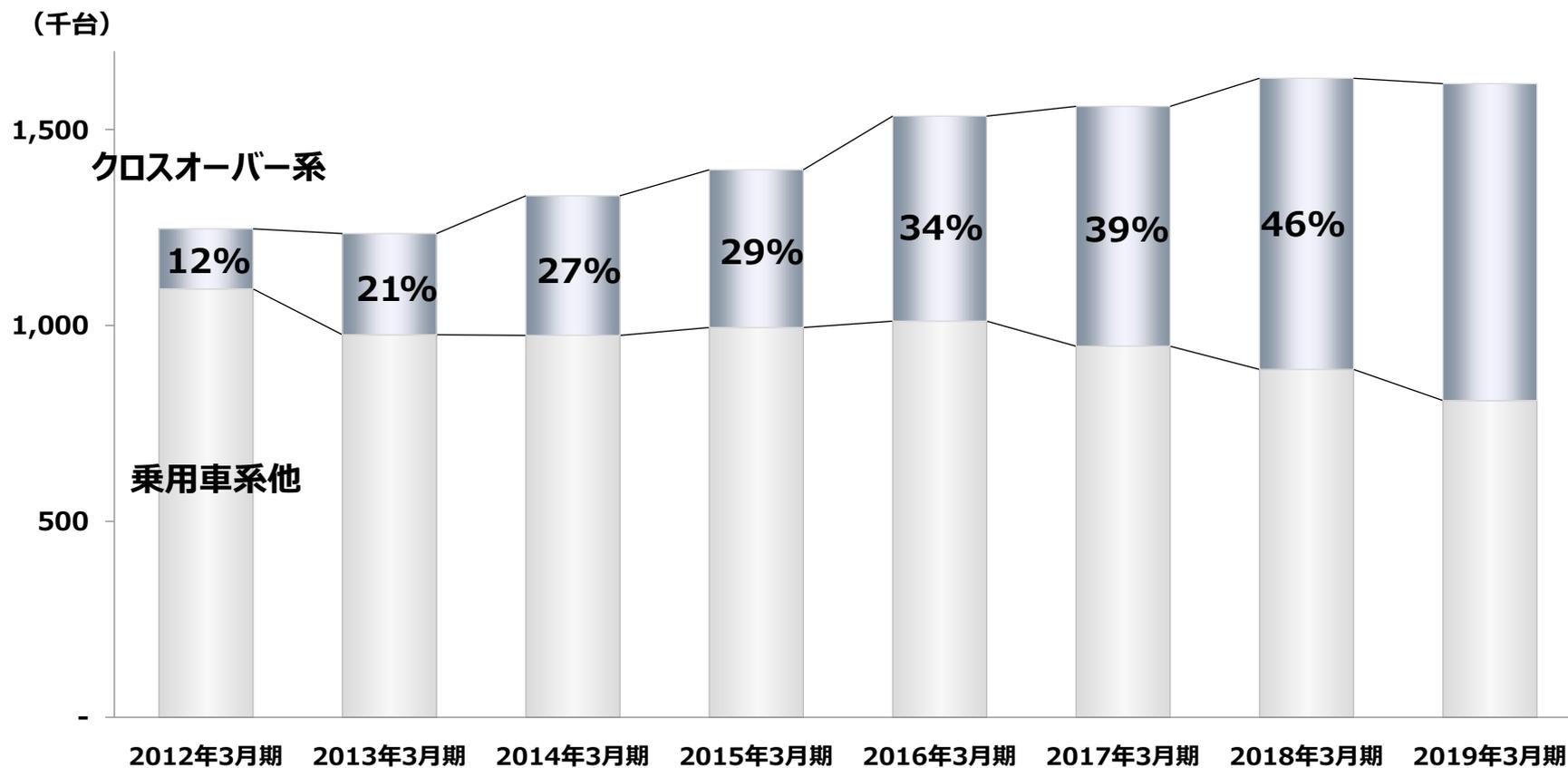
(億円)	2018年	2019年	増/(減)	
	3月期	3月期	対前年	
			金額	YOY(%)
売上高	8,545	8,560	15	0 %
営業利益	366	(22)	(388)	-
経常利益	441	121	(320)	(72)%
税引前利益	369	70	(299)	(81)%
当期純利益	267	38	(229)	(86)%
売上高営業利益率	4.3%	(0.3)%	(4.6)pts	
EPS (円)	44.7	5.9	(38.8)	
為替レート (円)				
USドル	111	111	0	
ユーロ	130	130	(1)	

2019年3月期 営業利益変動要因

第2四半期 対前年比較



クロスオーバー系車種比率



2012年3月期 2013年3月期 2014年3月期 2015年3月期 2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期

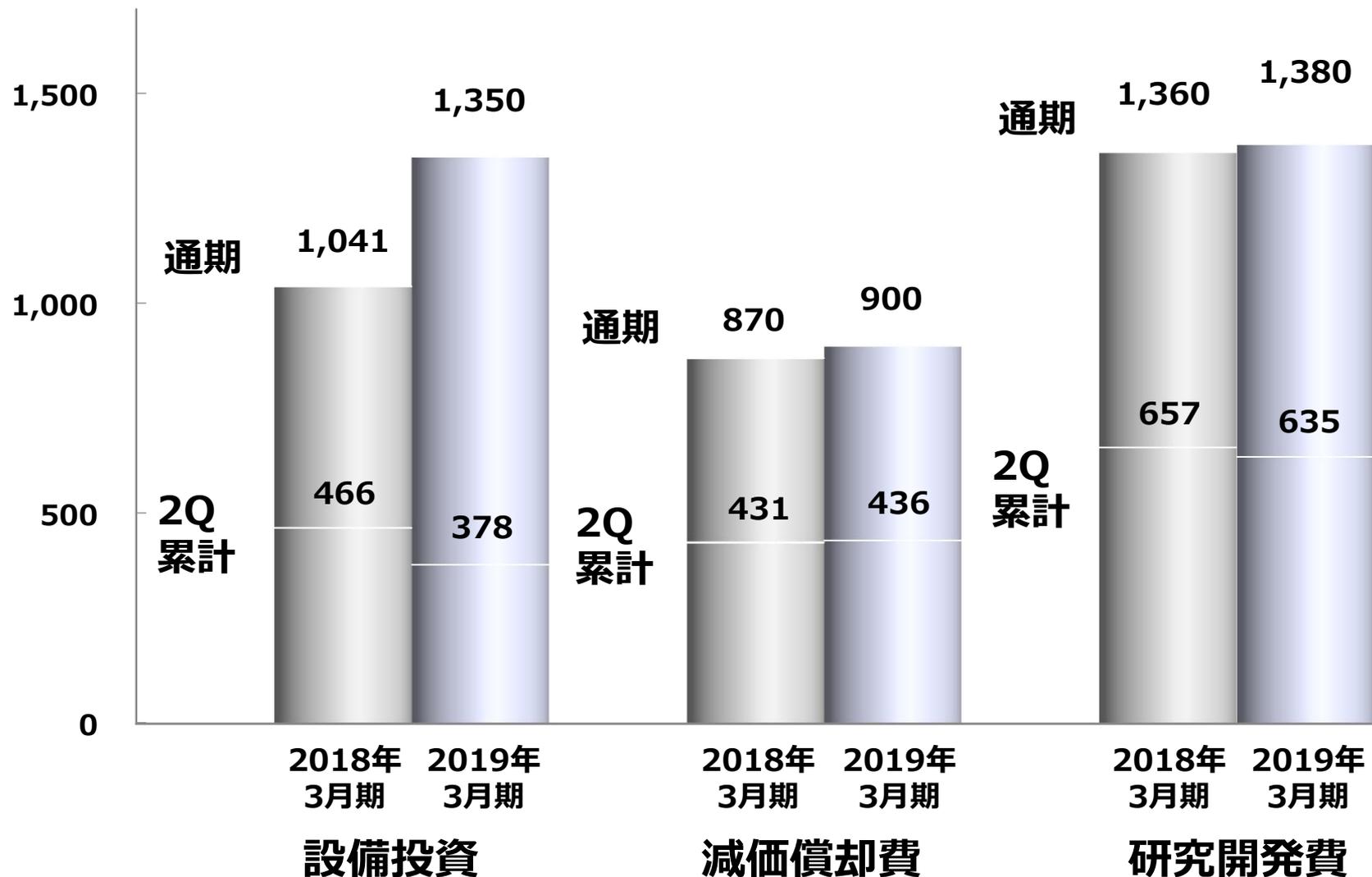
グローバル販売台数 (千台)

1,247	1,235	1,331	1,397	1,534	1,559	1,631	1,617
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

実績	計画
----	----

主要データ

(億円)

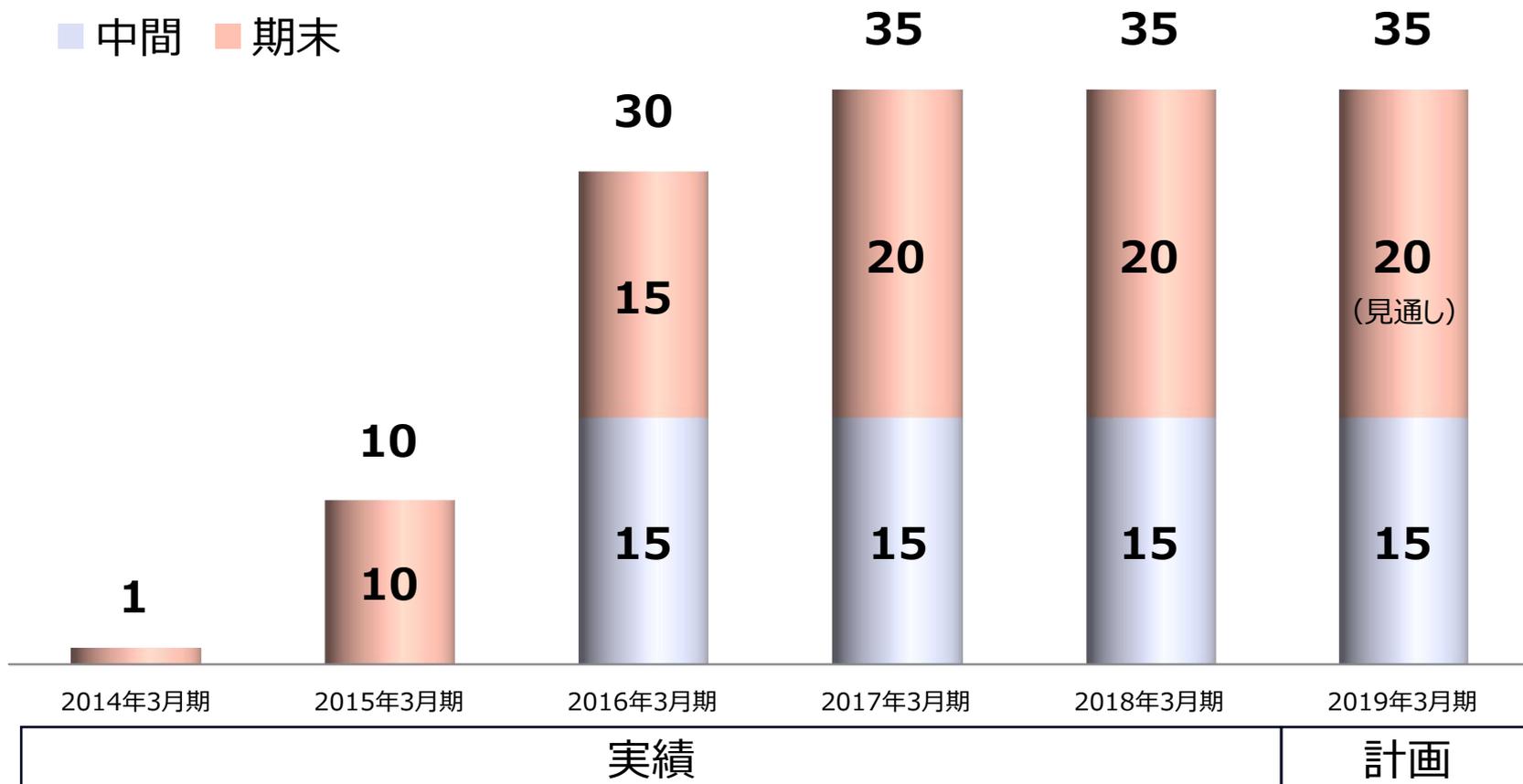


為替レート

(円)	通期		対前年 増/(減)
	2018年 3月期	2019年 3月期	
USドル	111	110	(1)
ユーロ	130	130	0
カナダドル	86	85	(2)
オーストラリアドル	86	81	(5)
英ポンド	147	146	(1)

配当について

一株当たり配当金の推移



注) 2014年8月1日付で普通株式について5株を1株の割合で株式併合を行っております。
一株当たり配当金は各年度における実際の配当金額を表しています。

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。